

臨床研修病院等実地調査について

1. 実地調査の目的

- 1) 「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令」に規定する指定の基準等の遵守状況（新規指定の場合は基準の適否）の確認
- 2) 今後の臨床研修制度の円滑な運用、省令等の見直しの参考等とするための運用状況、懸案事項等の聴取

2. 実地調査対象病院

1) 新規指定予定の病院

※指定申請書面の審査の上、必要と認めるもの。

2) 既指定の病院（相当大学病院を含む）

※例えば、下記について調査の必要があると認められるもの。

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚労令158）第6条の指定基準を満たさなくなった、又は満たさなくなる恐れがある場合。

特に、同条第1項第5号、同6号、同9号、同第12号、同第13号、同第15号にかかる事項。

3) 上記2に関連した協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設

4) 上記1から3のほか、実地調査の目的を踏まえ、地方厚生局長が必要と認めるもの

3. 実地調査までの段取り

- 実地調査を実施する際には、対象病院が調査を受けることを了解した上で、日程等を十分に調整する。
- 実施計画を本省医事課医師臨床研修推進室に情報提供する。
- 対象病院に対して、実地調査を行う30日前までに文書により通知する。
例1：新規指定病院用（参考1参照）
例2：既指定病院用（参考2参照）

4. 実地調査当日の対応

- 文書にて示したスケジュールに沿って実地調査を行う。
- 報告書を兼ねた質問事項（参考3、参考4参照）に掲げる質問・調査・確認事項について適宜確認を行い、実地でなければ明らかにならない事項（医療安全対策の実情、研修医の診療能力に関するもの等）を中心に行う。
報告書兼質問事項1：新規指定病院用（参考3参照）
報告書兼質問事項2：既指定病院用（参考4参照）
- 実地検査中に疑義等が生じた場合は、本省医事課医師臨床研修推進室へ報告・相談し、必要に応じて、後日、改善を求めるものとする。

5. 実地調査終了後の対応

- 実地調査に関する報告書（参考3、参考4参照）については、地方厚生局臨床研修審査官等が作成し、本省医事課医師臨床研修推進室へ情報提供する。
- 実地調査により改善を求めた場合、必要に応じて書面による改善結果の提出を求め、本省医事課医師臨床研修推進室へ情報提供する。

参考

○ 医師法第十六条の二第一項に規定する臨床研修に関する省令
(報告の徴収及び指示)

第十三条 厚生労働大臣は、臨床研修の実施に関し必要があると認めるときは、臨床研修病院の開設者又は管理者に対して報告を求めることができる。

2 厚生労働大臣は、研修プログラム、研修医の募集定員、指導体制、施設、設備、研修医の処遇その他の臨床研修の実施に関する事項について適当でないと認めるときは、臨床研修病院の開設者又は管理者に対して必要な指示をすることができる。

3 厚生労働大臣は、臨床研修病院群については、基幹型臨床研修病院の開設者又は管理者に対し、協力型臨床研修病院に関する第一項の報告の徴収又は前項の必要な指示をすることができる。

※臨床研修病院に対する実地調査については、一定の行政目的を達成するために、所管法令に基づき事業者等に対する指導監督上行う各種の立入検査、臨検、検査等（これらを総称して立入検査）に該当しない。

参考 1 (文書例 1 : 新規指定病院用)

○厚発第○○○○○○○○号
平成○○年○○月○○日

○○○○○病院 開設者 殿

○○○厚生局長

臨床研修病院の指定に係る実地調査について

標記について、貴職から医師臨床研修に係る臨床研修病院指定申請書の提出があったことを受けて、下記により実地調査を実施することといたしますので、ご対応方よろしくお願いいたします。

記

1. 日時 平成○○年○○月○○日 (○) ○○時○○分～○○時○○分
2. 調査場所 貴院
3. 調査実施者 ○○○厚生局健康福祉部医事課臨床研修審査官 ○○ ○○
○○○厚生局健康福祉部医事課臨床研修係長 ○○ ○○
4. 調査内容 「医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令」に規定する指定基準
5. 調査対象資料 別紙の通り

参考2（文書例2：既指定病院用）

○厚発第○○○○○○○○号
平成○○年○○月○○日

○○○○○病院 開設者 殿

○○○厚生局長

臨床研修病院に対する実地調査について

標記について、下記により実地調査を実施することといたしますので、ご対応方よろしくをお願いいたします。

記

1. 日時 平成○○年○○月○○日（○）○○時○○分～○○時○○分
2. 調査場所 貴院
3. 調査実施者 ○○○厚生局健康福祉部医事課臨床研修審査官 ○○ ○○
○○○厚生局健康福祉部医事課臨床研修係長 ○○ ○○
4. 調査内容 「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令」に規定する指定基準等
5. 調査対象資料 別紙の通り

（別紙）

○○○○○病院 実地調査時のスケジュール（案）

平成○○年○○月○○日（○）

- 13時00分～13時10分 院長等への挨拶（実地調査の主旨説明）
- 13時10分～13時40分 研修管理委員長、プログラム責任者との面談
- 13時40分～14時10分 指導医等との面談
- 14時10分～14時40分 研修医との面談
- 14時40分～15時50分 院内視察（外来設備、その他）、図書室、患者相談窓口、医学教育用機材等

書類審査（必要に応じて）

15時50分～16時00分 講評

【調査対象書類等】

- 医師等の免許証の写し
- 研修医の処遇等が分かる資料
- 研修の進捗状況が分かる資料（研修医手帳等）
- 研修管理委員会及び安全管理委員会に関する資料

※ 上記の書類については、既存の資料等で同等のものがあれば改めて作成の必要はありません。また、当日は貴院のパンフレットを2部ご用意ください。

（総括表）

病院名（研修病院番号） ○○○○○病院（○○○○○○○）

実地調査日時 平成○○年○○月○○日（○）○○時○○分～○○時○○分

病院側担当者（病院側対応者を記載）

厚生局担当者（厚労省側対応者を記載）

指定類型（基幹型、協力型の別を記載）

指導医数○○名

研修医定員 基幹型○○名 協力型○○名

受入研修医数 基幹型○○名 協力型○○名

備考

（質問・調査・確認事項）※必要に応じて聴取

- ・ 医師臨床研修の指定を受けようとする経緯
- ・ 協力型臨床研修病院等との連携
- ・ 地域との連携について（紹介率等）
- ・ 症例数は十分に確保できるか、また偏りはないか
- ・ 臨床研修制度に対する質問
- ・ これまでの新人教育、新人雇用の実績
- ・ 研修医の相談体制
- ・ 研修医と他の医療従事者との連携体制
- ・ 研修医の募集方法
- ・ 研修医の指導体制
- ・ 研修医の研修状況（到達目標の達成度、研修医による症例提示など）
- ・ 研修医からの問題点の指摘
- ・ 医師数
- ・ 研修医手帳の有無
- ・ 医療に関する安全管理のための体制の整備状況
- ・ 安全管理者の配置状況

- ・ 安全管理部門の設置状況
- ・ 患者相談窓口（意見箱等）の設置状況
- ・ 研修管理委員会の設置状況
- ・ 公的保険加入状況
- ・ 健康診断実施状況
- ・ 勤務状況の管理方法
- ・ 診療台数
- ・ 医療機器の配置状況等
- ・ 放射線管理区域
- ・ インターネット環境（文献データベース）
- ・ シミュレーター等教育用機材（DVD、マネキン等）
- ・ 研修医の休憩室、医局等
- ・ 図書室（図書・雑誌）
- ・ 診療録の保管室
- ・ その他

(総括表)

病院名 (研修病院番号) ○○○○○病院 (○○○○○○)

実地調査日時平成○○年○○月○○日 (○) ○○時○○分～○○時○○分

病院側担当者 (病院側対応者を記載)

厚生局担当者 (厚労省側対応者を記載)

指定類型 (基幹型、協力型の別を記載)

指導医数○○名

研修医定員

基幹型○○名 協力型○○名

受入研修医数

基幹型○○名 協力型○○名

(プログラム責任者への質問・調査・確認事項) ※必要に応じて聴取

- ・ 研修プログラムについて説明(プログラム数、定員、特色、協力型病院数、指導方針等の説明)
- ・ 必修化により良くなった点 (制度、指導、指導医、研修医)
- ・ 必修化により苦勞されている点 (制度、指導、指導医、研修医)
- ・ 基幹型病院での現在の指導状況、研修医の進捗状況について研修医を受け入れている協力型病院からの意見はあるか
- ・ 研修医からの研修等に関する相談 (研修内容、精神的な落ち込み等、困っている、悩んでいる事例) はあるか
- ・ 相談窓口、意見箱など、患者さんからの研修医に対する意見はあったか
- ・ 研修医に対する指導方法、症例数、指導時間の確保状況
- ・ 看護師など、医療従事者の連携に関する研修状況
- ・ 看護師など、医療従事者の研修医に対する意見はあったか
- ・ 臨床研修制度に対する職員の認知度、理解度
- ・ 研修医同士の交流 (友好度) 状況
- ・ 研修評価方法 (時期、指導医ごとの治療方針、研修評価のばらつきの調整)
- ・ 研修管理委員会の開催状況、議事内容について
- ・ ヒヤリハット、インシデント等の医療安全に関する研修医からの報告状況、事例収集状況等
- ・ 職員研修の開催状況、研修医の出席状況について
- ・ 他都府県協力型病院との連携状況 (指導状況、研修医の進捗状況、研修管理委員会の参加状況とその対策)
- ・ 研修制度に対する今後の要望
- ・ 自由に本制度をかえるなら、何を変えるか

(指導医等への質問・調査・確認事項) ※必要に応じて聴取

- ・ 専門科目
- ・ 役職
- ・ 臨床経験
- ・ 必修化により評価できる点 (制度、指導、指導医同士の交流、研修医)
- ・ 必修化により苦勞されている点 (制度、指導、指導医、研修医)
- ・ 周りの医師の反応、本制度の認知度、理解、評価はどうか
- ・ 看護師、患者から研修医に対する意見等を聞くことはあるか
- ・ 指導医ごとの治療方針、研修評価のばらつき調整はどうかっているか
- ・ 制度前に比べて、業務の負担はどうですか (臨床研修指導に対する評価等はあるか)
- ・ 逆に、ギブ&テイクのように研修医がいて助かっている面はありますか
- ・ 自病院の研修プログラムについての感想
- ・ 制度に対する今後の要望

(研修医への質問・調査・確認事項) ※必要に応じて聴取

- ・ 出身地
- ・ 出身大学
- ・ 参加しているプログラム
- ・ 本プログラムを選んだ理由
- ・ (自大学以外の場合) 自大学プログラムを選択しなかった理由
- ・ 実際に研修を行ってみた感想
- ・ (卒後二年間は研修を受ける) 臨床研修制度化についての感想
- ・ 臨床研修必修化によって良かった点
- ・ 後輩へ伝えたいことはありますか
- ・ (勤務時間、給料など) 処遇について
- ・ 来年の進路について、(研修前の希望も聞いて) 進路は研修によって変化したか
- ・ 研修について、自身の研修状況、研修評価、自己評価は確認できていますか
- ・ 制度に対する今後の要望
- ・ 自由に制度を変えられるとしたら何を変えるか

※質問回答によりプライバシーや教育評価等、個人に不利益は生じないことを、事前に研修医本人及び病院側に伝えておくこと。